

令和3年度「メディカル・キャンプ・セミナー」レポート

概要

令和3年8月10日（火）、11日（水）に、講師と参加者をオンラインでつなぎ、「メディカル・キャンプ・セミナー」を開催しました。

今年度は、医学部医学科への進学を目指す高校2年生100名が参加し、北海道大学教授による特別講義、道立高校教諭による数学・英語の講義、現役の医学部生が参加するグループワークなどを実施しました。

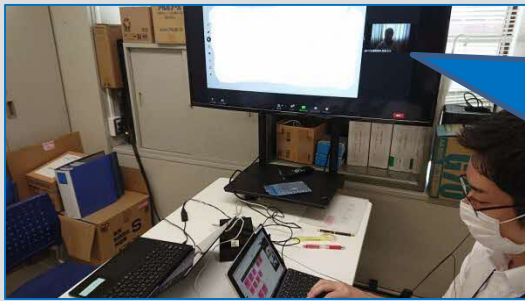
今回のセミナーは、ZoomとGoogle Classroomの両方を活用し、道教委主催のセミナーとしては初めてGoogle Jamboardを使用した意見交流や発表を行いました。

参加者は、ICTを活用した意見交流により、地域医療の課題を再認識するとともに、将来、自分が医師として社会に貢献するために、今後の学校生活や私生活を通じて、具体的に何をすべきか、考えを深めていました。

◆開会式 8月10日（火） 10:00～10:20

主催者を代表して、北海道教育庁学校教育局高校教育課柴田課長が挨拶を行いました。

柴田課長から、画面を通じて、100名の高校生へ激励のメッセージが送られ、生徒は真剣な表情で話を聞いていました。



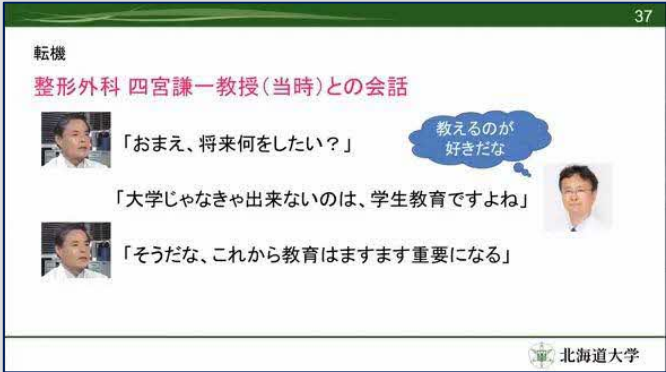
2日間のセミナーで、同じ志を持つ全道の仲間との心の絆を深めてください！

◆特別講義 8月10日（火） 10:20～11:20

北海道大学の高橋誠教授から、「医師ってどんな仕事？」をテーマに講義いただきました。

医師の仕事の実際のほか、高橋教授の経歴、現在の職に就いた経緯や、未来の医師に求められる資質・能力について説明していただきました。

生徒は、メモを取りながら熱心に話を聞いていました。



<生徒の声>

- ・医療現場の動画や、高橋教授の経歴など、詳細の説明でとても分かりやすかったです。また、「医師のプロフェッショナル」などの話で、求めていた以上のことを知ることができました。
- ・医師という存在の重みを改めて知ることができました。医師になりたいという思いが一層強くなったので受験勉強をさらに頑張ります。

◆説明 8月10日（火） 11:30～12:00

北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課医師確保係の清水係長から、北海道の医師数、二次医療圏別医師偏在指数などのデータに基づいた、北海道の地域医療の現状や、本道の医師確保施策である「北海道医師養成確保修学資金貸付制度（地域枠制度）」など、北海道の取組を説明していただきました。



◆グループワークⅠ 8月10日(火) 13:00~16:30

旭川医科大学の牧野教授の進行とともに、旭川医科大学の学生がサポート役となり、「地域医療」をテーマに、参加者同士によるグループワークを行いました。

① 事前課題についての発表

事前課題で取り組んだ「地域医療を支える人々には、どのような方達がいる、それぞれどのような役割を担っているのだろうか?」について、自分の考えをグループで発表しました。



画像と音声はZoomで接続

② 意見交流

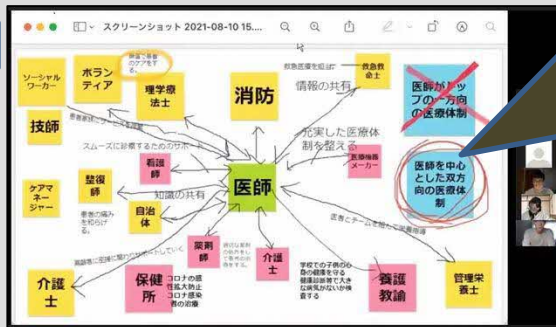
「医師は、地域医療を支える人々の中でどのような役割を担っているのだろうか? 地域医療を支える人々の中でどのように関わっていくべきだろうか?」をテーマにグループで意見交流を行いました。

Google Jamboardの付箋を使って意見を交流



③ 発表・全体交流

グループで話し合ったり、「ワールドカフェ」スタイルで交流した内容をJamboardを活用して発表しました。牧野教授から、グループの発表ごとに、感想をいただきました。



Jamboard上で、ペンやテキストボックス等を使って意見を整理

④ まとめ・助言

最後に、牧野教授と三好教授から、地域医療の在り方や「チーム医療」、「多職種連携」の重要性とともに、高校生に対して今後期待することなどについて御助言をいただきました。

医師を目指す高校生の熱心な議論、発表に感動しました!



旭川医科大学 牧野教授

<生徒の声>

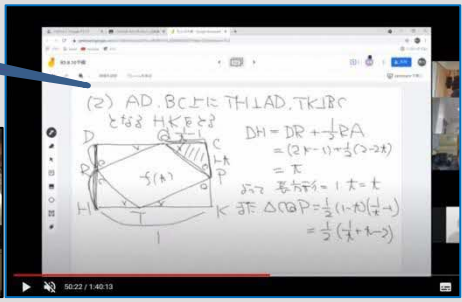
- ・グループのみんなで意見を共有することで、自分にはなかったアイデアに気付かされ、自分が知らなかった職業を知っている人もいて、刺激を受けました。また、医師の役割を話し合う上で、どのような医師になりたいかという、理想像も見えてきました。
- ・私はこの問いに答えがあると思い、ネットも利用して書きましたが、全体の意見交流では、考えもしなかった意見が出てきて、この問いに正解はなく、自分の意見を書けばよかったと気付かされました。
- ・「地域医療における医師の役割は何か。」というテーマはとても難しかったです。しかし、難しいからこそ仲間の意見を聞いて考えが広がったので貴重な体験でした。地域医療=僻地医療では無いことを再確認し、知識も深めることができました。

◆講義「数学」 8月11日(水) 9:00~10:30

道立高校3名の教諭により、数学の講義を行いました。
 生徒が取り組んだ事前課題にもとづき、A~C3つのコースに分かれて講義を実施しました。
 A: 大島寿美先生(札幌啓成、右)
 B: 村上恭平先生(札幌南)
 C: 花尻健明先生(旭川東)

GoogleJamboardで講義

3つのコースを配信



<生徒の声>
 ・実際の大学入試問題を解いたことで、自分の今のレベルと今後の必要な勉強を知りました。
 ・自分の知らない解き方を知り、色々な見方ができるようになりました。
 ・授業だけでなく、数学の勉強法を聞いてモチベーションが上がりました。

◆講義「英語」 8月11日(水) 10:40~12:10

札幌西高校の柴田雅裕教諭(右)による英語の講義を行いました。
 事前課題に基づき、医育大学等の入試問題に取り組みました。
 <教材作成協力者>
 ・木村準一先生(札幌国際情報)
 ・大塚 徹先生(札幌南)



<生徒の声>
 ・音読を積極的に取り入れてくれたので分かりやすく、声が穏やかで聞きやすかったです。
 ・長文の解き方やライティング力向上の方法を学べて、一層英語に力を入れたいと思いました。
 ・英作文の書き方を学び、英検などにも生かそうと思いました。

◆グループワークⅡ-1 8月11日(水) 13:10~14:20

札幌医科大学の学生がサポート役となり、「大学での学びの抱負」、「医療を通して実現したいこと」をテーマに、参加者同士によるグループワークを行いました。

① 発表・意見交流Ⅰ
 まず、「自分が大学で学びたいことは何か?また、それを社会に出てから、どう生かそうと考えているか?」について、自分の考えを発表し、グループで意見交流しました。

お互いの意見を交流



現役の医大生もグループワークに参加

② 発表・意見交流Ⅱ
 次に、「自分が医療を通じて実現したいこと、そのために必要な資質や能力等」について、自分の考えを発表し、グループで意見交流しました。



Google Jamboardの付箋を使って意見を整理

◆グループワークⅡ-2 8月11日(水) 14:30~16:30

③ 作業・協議

これまでの意見を踏まえ、「今後の学校生活で取り組みたいこと」について、学習、生活、人間性の面から、各自検討した後、グループで協議し、共通した意見や説得力のある意見などを共有しました。



④ 発表・全体交流

グループで話し合ったことについてJamboardや、スライドなどを示しながら、発表しました。人間性の面では、「鋼メンタルをつくる」、「明鏡止水の心持ちで生活する」という印象深い意見も出ていました。



⑤ まとめ・助言

最後に、小山内教授から、医学部の入試の実際、今後の学校生活で期待することなどについて助言いただきました。



今後に取り組みたいことについての意見

<学習面>
「基礎基本の徹底」
「読解力の向上」
「復習」などの意見が出ていました。

<生活面>
「規則正しい生活」
「スマホの制限」などの意見が出ていました。

<人間性の面>
「コミュニケーション力向上」「積極性・自発性」「謙虚さ」などの意見が出ていました。

高校時代にしかできないことに挑戦し、高い意識をもって医師という夢をかなえてください!



<生徒の声>

- ・グループの雰囲気や、大学生の優しさによって、発言しやすい場になりました。
- ・自分の意見と相手の意見を相対的に見て、第三者の目線から考えられるようになりました。
- ・各自の勉強法やスマホの使用時間の制限方法などを知ることができてよかったです。素敵な仲間存在を認識できたことは、私にとってとても貴重な経験になりました。

◆閉会式 8月11日(水) 16:30~16:35

北海道教育庁高校教育課の古御堂課長補佐が閉会の挨拶を述べました。

このセミナーを通じてつながった同じ志を持つ仲間を思い浮かべ、各学校で進路実現に向け頑張ってください。そして、将来、北海道の医療を支える人材となってください。



◆参加者アンケート結果

	大変ためになった	ためになった	あまりためにならなかった
特別講義について	86.3%	13.7%	0.0%
グループワークⅠについて	78.1%	20.5%	1.4%
グループワークⅡについて	86.3%	12.3%	1.4%

<セミナー全体に対する生徒の声>

- ・医者への道は厳しいことや、同じ医師を目指している同年代のコミュニケーション能力がとても高いことが分かりました。でも、医者への憧れ、人を助けたいという思い、医者として北海道に貢献したいという思いは、むしろ強くなったので諦めずに頑張ろうと思いました。
- ・とても有意義な時間を過ごせました。自分が具体的に何をしたいのか考える機会になりました。
- ・今回のセミナーで医者に絶対なると思いました！自分の将来のために全力を尽くします。